



全ダ連だより

第 23 号
2021.3

All Nippon Association of Dance



Contents

会長挨拶	2
副会長挨拶	3
2020 年度～ 2021 年度 役員紹介	4
新理事挨拶	5
委員会からの活動報告（資格認定委員会）	6
委員会からの活動報告（ダンス教授所及びジュニア育成教室認定委員会）	8
委員会からの活動報告（ダンス普及委員会）	9
委員会からの活動報告（ウェルフェアダンス指導員認定委員会）	10
2020 年度 ウェルフェアダンス普及事業・会員主催の公益事業	12
教師協会からの活動報告（京都ロイヤルダンス教師協会）	13
教師協会からの活動報告（熊本県社交ダンス教師協会）	15
2021 年度（令和 3 年度）ダンス教師試験日程	16

発 行 日 令和 3 年 3 月 26 日
発 行 者 公益社団法人全日本ダンス協会連合会
所 在 地 〒 105-0004
東京都港区新橋 1-18-13 杉村ビル 9F
TEL 03-3506-8866 FAX 03-3506-8854
E-mail : anad@zendaren.or.jp
URL : <http://www.zendaren.or.jp/>
営 業 時 間 （平日）10：00 ～ 18：00
定 休 日 土・日・祝他



令和、コロナ禍の全ダ連 「ソーシャルダンスとソーシャルディスタンス」

公益社団法人全日本ダンス協会連合会

会長

小川 純

元来、全ダ連が振興する社交ダンスは、その歴史の中で、技術や作法が洗練され、高い達成度をもち、且つ、様式美や礼儀を重んじる文化であります。その佇まい、その趣、その品格がにべもなく否定された思いの三密規制。思わず「ソーシャルダンス？ソーシャルディスタンス？」と駄洒落でも言って笑い過ぎすしかないのか……。フェイスシールドを着けて、マスクをしてボディーコンタクトを十分に離してソーシャルディスタンス？手袋着用……。未だ悪夢？から覚めずにいます。

令和二年は、人類の営みが根底から覆されるという未曾有の困難に直面し、全く世界の景色が一変してしまいました。新型コロナウイルス感染症の問題は、令和三年の新年を迎えても、なお、その脅威の深刻さは増幅している。果たして、ワクチンや治療薬が効をそうし、見えざる感染症を抑え、経済の営みを回復できるのか。みな息を凝らして見守っている。それとも全く打つ手無しの深刻な状況に陥ってしまい、私たちがダンスを堪能する生活は破綻せざるを得なくなるのか。

先の戦争とは様相が異なるとはいえ、世界の感染者数や重症者数、無念にも他界された方々の数からすれば、それに匹敵する脅威がある。しかも、これで終わるという見通しが未だ立たないでいる。新年早々の緊急事態宣言の再発令と変異種のウィルスである。

確かに、新型コロナウイルスに感染しないという聖域は無い。社交ダンス愛好家が集う場所や、多くの人々が興じることが、かえって密のリスクを高め、クラスター発症の場となりかねない。新型コロナウイルスには、私だけは大丈夫などと、そんな気休めはもはや通用しない。己を慎むことを学びました。

また一方では、新しい生活様式や三密回避、非接触の掛け声を再認識して、私たちの生活の在り方や仕事の進め方に大きな変化をもたらしました。研修や会議は今ではWEB研修、リモート会議が一般化しました。これらは時間を効率的に活用できる点で、極めて優れており、全ダ連においても大いに活用しているところです。しかしながら、本来あるべきコミュニケーションが取れているのか疑問も残ります。とりわけ、全ダ連が行う定期指定講習などは、WEB研修によって、知識の共有は出来ても、技術的な経験値を高めることがおざなりになる。社交ダンスの全てをテレワーク化に置き換えられない事にも気付かされました。

人と人との交流を制限し、社会の分断を強めたコロナ禍、ダンス愛好家の集いの場所を規制されてから早くも一年になりました。深刻な状況下にあって、感染防止対策の一環としての「ソーシャルダンスとソーシャルディスタンス」問題にも真摯に取り組みをされて、頑張っておられる皆さまに、改めて敬意を表します。

また、皆さまには競技会、各種イベントが大幅に規制されているこの時期こそ、全ダ連本来の、認定技術級の昇級を見据えた勉強をされることを希望いたします。

やがて訪れるコロナ禍の終息後には、この度の騒動で健康寿命の有り難さを再認識された人々が以前にもまして、ダンス愛好者となることでしょう。そこに、皆さまが培った社交ダンスの知識の深さと高い技術力が求められる今こそ、皆さんで全ダ連ブランドを高く押し上げるチャンスではありませんか。



コロナ禍に於けるダンス界について

公益社団法人全日本ダンス協会連合会
副会長
資格認定委員会委員長
村松 昌弘

昨年よりコロナに翻弄され収束の目処が立たないまま1年が経ちましたが、会員の皆様は不自由で不安な中、日々健闘され過ごしていることと思います。

ダンス界のみならず、社会全体がコロナの影響を受けているのですが、全ダ連はこういう時期をチャンスに変えて活動をすべきだと私は考えています。

人と人との接触が濃厚であるボールルームダンスに於いて、教室に習いに来ている生徒達に安心感を与えながら、ダンス業界の灯を絶やさず営業を続ける為には、今だからこそ全ダ連の試験制度を活用して、ソロのダンスを教授することを指導者が推奨すべきではないでしょうか。

昨年行われた後期の認定講習（集合講習、考査）は、役員・審査員はもとより受験者や補助員もソーシャルディスタンスを守り、余裕をもって受験生を一人ずつ入れ替えてジャッジする等、安全への配慮を充分にして実施されました。

世界中に猛威を振るっているコロナの状況から早期の終息は極めて困難であろうことが推測されます。

おそらく、大勢の人が集まる競技会やパーティーなどの実施は、来場するお客様達が敬遠をして、当分の間は以前のような形での開催が難しいのではないかと思います。

更にダンスに限らず習い事については、習う側が目標を失うとやめてしまう事が多いといわれておりますので、教える立場の私達は、生徒達に常に目標を設定して勧めることが極めて重要であります。

その時代の状況に順応しながら、現状に対処しつつボールルームダンスを広めていかなければ、社交ダンス界の未来が開けていくことはありません。

ある意味では時間のある今だからこそ、自らもダンスの基本のメカニズムを研究し勉強しながら、ダンスそれ自体の理解を深めるチャンスでもあるわけです。

少なくとも私は、ダンスのプロの業界の行方は、全国にいる個人レッスンをしているレッスンプロの方々が鍵を握っているのだと思っておりますので、教師協会会員の先生たちには、是非とも今一度基本のフィガーに目を向けて、試験を目標に活動していただくことをお願いいたします。

2020年度～2021年度 役員紹介

2020年7月14日、定時総会が開かれ、2020年度～2021年度の役員が選任されました。

会 長	小川 純				
副 会 長	村松 昌弘	奥野 友子			
常 務 理 事	野本 雅裕	小嶋 朱美			
常 任 理 事	小室 裕一	玉置 朝啓			
理 事	和田 克夫	石井 銀美	渡部 徹	後藤 敏一	深澤 充子
	佐々木 照子	松原 勲	葛西 康良	佐藤 順子	白石 恵子
監 事	福田 守弘	後藤 正一			



コロナ禍で一言

公益社団法人全日本ダンス協会連合会
常務理事
広報・出版・IT委員会委員長
野本 雅裕

昨年から新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、厳しさは増すばかりで、未だ終息の兆しが見えません。こうした中で全ダ連も活動自粛を余儀なくされ、人が集まるイベントや講習などの開催が中止や延期、計画休業など様々な影響がありました。

あらゆる分野で環境が激変する今は、私達ダンス教師にとってもこれまでの行動様式や思考法について再考を迫られています。

そして、こうした時期だからこそ一度立ち止まり、私達1人1人に何が出来るのか、よく考えることが大事なのではないでしょうか。

たとえば、競争から共創へ、

物質的繁栄から精神的充実へ

効率性重視から持続可能性重視へ

分離から統合、そして創造へ

といったような意識の変化が必要なのではないでしょうか。

ダンス界は今、新型コロナウイルス感染症の影響により、非常に厳しい状況下になっていますが、社交ダンスに携わる私達は、どのような環境になっても知識や技術を磨くことを怠らず、多くの皆様にダンスの楽しさ素晴らしさを広めていき、学んだ事を実践し表現していくことが、ダンス界の発展や全ダ連の将来のためにつながっていくと私は考えております。

最後に、こうしたコロナ禍の中で誰もが未だかつてない経験をしながら…

皆様とともに手を携えて軽やかにしなやかに、新しい時代に向かって歩んでいきたいと思ひます。

新理事挨拶



常任理事

玉置 朝啓

この度常任理事として就任いたしました、玉置朝啓です。

競技引退後、DC、IDSF、IPDSC、WDSF、WDSF-PD 等の世界選手権を審査してきました。

連合会では基本方針、他団体との交流、全ダ連独自のステータスの構築、機構の見直し及びダンス普及事業、アマチュア競技会の活動支援、公認等に関心があります。今後共宜しくお願い致します。



理事(北海道地域会)

和田 克夫

私は北海道地域会の仕事や資格試験関係の仕事を主にやっておりました。北海道ダンス教師協会の前会長、日向優美子先生が突然他界され、後任として引き継いでいます。

前会長と私は昭和 45 年に教師資格を取得した同期の桜(?)です。



理事(中国地域会)

松原 勲

微力非才の身ではございますが、大任をお受けしたからには、誠心誠意、協会発展のため職務に尽力いたす覚悟でございます。

どうか今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



理事

白石 恵子

世界中がコロナで大騒動の中、理事という大役を引き受けてしまったことを深く反省しています。改めて私で出来ることって何があるのだろうか、思いめぐらしましたが、何も浮かんできませんでした。今後のダンス界を益々発展させていく為に、ダンス人口の増加、質の向上等に向かって努力をしていきたいと思っています。

委員会からの活動報告（資格認定委員会）

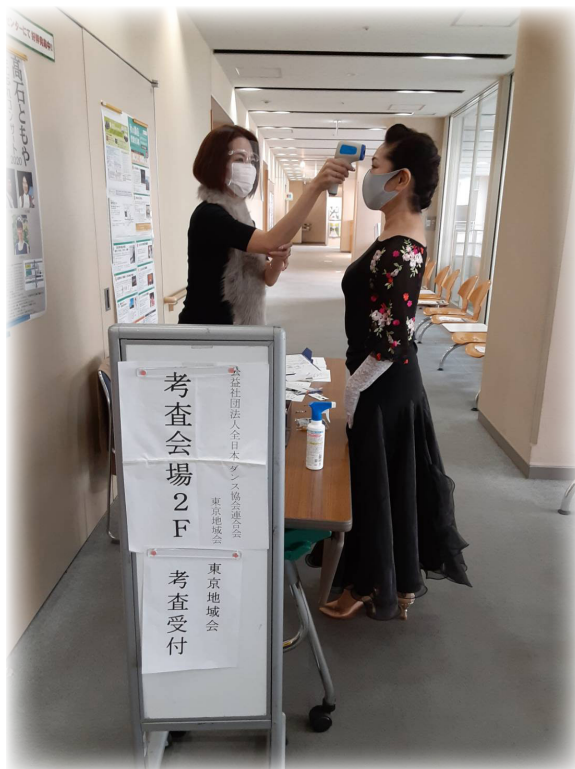
例年、前期・後期の年2回実施しているダンス教師資格認定講習及び昇級試験ですが、この度の新型コロナウイルス感染症感染拡大予防策として、前期においては全地域会において中止し、後期においては、感染予防対策を徹底し、6地域会で実施いたしました。

【受付にて】

感染対策はバッチリです！



検温して会場入ります



審査員同士も離れての会場セッティング

【試験の様子】



☆ 2020 年度後期試験にて 9 名の新しい先生（アソシエイト）が誕生しました☆

大久保 聖馬 井上 義宏 木村 典恵 小林 哲一 坂本 薫

澤田 千恵 住山 真美 堀 恵子 三好 康夫

昇級試験では、メンバー 4 名 ライセンシエイト 2 名 フェロー 6 名 合格！！

ガイハワード テクニック・オブ・ボールルーム・ダンシング分冊版、修正箇所について

この度、テクニック・オブ・ボールルーム・ダンシング分冊版発行元よりの一部修正の連絡がありましたのでお知らせします。お持ちのテキストをご確認ください。試験の際にはご注意ください。

【ワルツ】 P13 解説の左側 12 ～ 13 行目削除

【クイックステップ】 P 44 後続最終行 リバース⇒ナチュラル

P 52 後続 1 行目 クロス・シャッセ挿入

委員会からの活動報告（ダンス教授所及びジュニア育成教室認定委員会）



副会長
ダンス教授所及びジュニア育成教室認定委員会委員長
奥野 友子

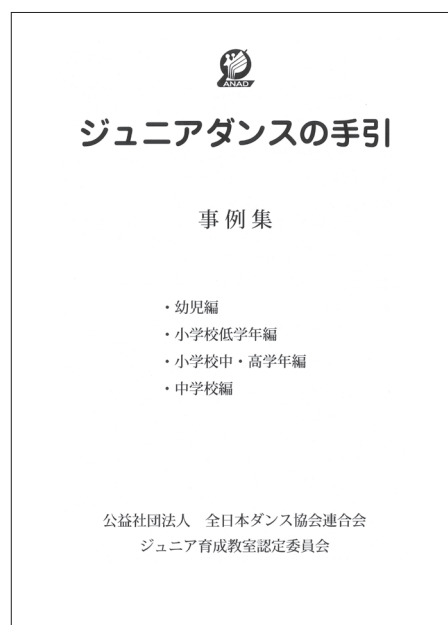
令和2年度は、未曾有の事態に世界中が陥り、今なお続いているという最悪の年でありました。日本中のダンス教授所が大打撃を受けており、残念ながら、前年度より約50件の教授所が閉鎖されています。しかしながら、この非常事態にあっても、300件近い教授所が各地域で奮闘されています。私は、この頑張っている教授所の皆様に大きな拍手とエールを送ります。

社交ダンス界が支えられているのは、各地域に根差したダンス教授所と、そこにおられるダンス教師の方々のお陰であります。

生徒さんの数は少なくなっているものの、このような状況下でも、今まで培った信頼と強い絆で結ばれ、教室に足を運んでくださる生徒さん達に心から感謝しなくてはなりません。

もちろん、検温、換気、消毒、時間短縮、密を避けるなど精いっぱい感染防止対策をして、支援して下さる方々を裏切ることなく、安心・安全の環境づくりに努めることは必須であります。いつか脱出できる日が来ると信じて、お互いに情報共有をしながら頑張りましょう！！

さて、ジュニア育成普及事業では、「ジュニアダンスの手引・事例集」を作成いたしました。ジュニア委員の方々には、すでにお配りしております。令和3年度では、内容の理解に努め、実践展開を予定しておりましたが、当分の間は動けませんので、近々アンケートを配布させて頂く予定をしております。忌憚のないご意見を頂きますよう、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



メレンゲ・Merengue					
メレンゲアクション					
【①足踏み】					
歩数	タイミング	拍子	足の位置	フットワーク	使用アクション
1	1	Q	左足その場に	8フット	-
2	2	Q	右足その場に	8フット	-
3	3	Q	左足その場に	8フット	-
4	4	Q	右足その場に	8フット	-
5	5	Q	左足その場に	8フット	-
6	6	Q	右足その場に	8フット	-
7	7	Q	左足その場に	8フット	-
8	8	Q	右足その場に	8フット	-
【②左へ移動】					
歩数	タイミング	拍子	足の位置	フットワーク	使用アクション
1	1	Q	左足横に	8フット	-
2	2	Q	右足左足にクロス	8フット	-
3	3	Q	左足横に	8フット	-
4	4	Q	右足左足にクロス	8フット	-
5	5	Q	左足横に	8フット	-
6	6	Q	右足左足にクロス	8フット	-
7	7	Q	左足横に	8フット	-
8	8	Q	右足左足にクロス	8フット	-
【③右へ移動】					
歩数	タイミング	拍子	足の位置	フットワーク	使用アクション
1	1	Q	右足横に	8フット	-
2	2	Q	左足右足にクロス	8フット	-
3	3	Q	右足横に	8フット	-
4	4	Q	左足右足にクロス	8フット	-
5	5	Q	右足横に	8フット	-
6	6	Q	左足右足にクロス	8フット	-
7	7	Q	右足横に	8フット	-
8	8	Q	左足右足にクロス	8フット	-
【④左回転】					
歩数	タイミング	拍子	足の位置	フットワーク	使用アクション
1	1	Q	左足横に	8フット	-
2	2	Q	右足左足にクロス	8フット	-
3	3	Q	左足横に	8フット	-
4	4	Q	右足左足にクロス	8フット	-
5	5	Q	左足横に	8フット	-
6	6	Q	右足左足にクロス	8フット	-
7	7	Q	左足横に	8フット	-
8	8	Q	右足左足にクロス	8フット	-
【⑤右回転】					
歩数	タイミング	拍子	足の位置	フットワーク	使用アクション
1	1	Q	右足横に	8フット	-
2	2	Q	左足右足にクロス	8フット	-
3	3	Q	右足横に	8フット	-
4	4	Q	左足右足にクロス	8フット	-
5	5	Q	右足横に	8フット	-
6	6	Q	左足右足にクロス	8フット	-
7	7	Q	右足横に	8フット	-
8	8	Q	左足右足にクロス	8フット	-

全ダ連公認競技会のご案内

会長
ダンス普及委員会委員長
小川 純

ダンス普及委員会では、おりしもコロナ禍により、新しい様式での全ダ連の活動を展開し、組織の活性化を図っていくためには、外部団体との交流、共存も重要な課題として認識しております。

さらには、会員の拡大及び技術向上のためには、一部会員（教師協会）からの要望もあり、全ダ連として、ダンスフェスティバルの枠組みとは別に、競技会の運営に何らかの形で携わっていく必要があるものとの検討がされてきました。

その結果、このほどダンス普及委員会が取りまとめた公認規定の内訳は（2020年8月15日執行）
①連合会会員が主催する競技会の公認申請 ②外部競技団体が主催する競技会の申請となり、それぞれに規約を設けましたので、申請希望の団体または教師協会等は、必ずやダンス普及委員会にお問い合わせをお願いいたします。

また、昨今のダンス業界の多様化の状況に鑑みて、全ダ連が本来の目的に沿った競技会の開催が可能となりうるならば、それも視野に入れて活動をしてまいりますので、皆さまには、何卒お力添えの程、宜しくお願い申し上げます。

ホームページ 活用のご案内

広報・出版・IT委員会

全ダ連のホームページでは、全ダ連についてはもちろん、関連した様々な情報を掲載しております。各種申請書類も、お手持ちのパソコンからプリントアウトしていただけますので、是非ご活用下さい。

- ◇ダンス教師資格 登録更新申請書、変更届出書、受験申請書ほか、必要書類
- ◇認定ダンス教室 変更届
- ◇教材注文書 ※ 2021.1.1 に改訂されました。

ウェルフェアダンス指導員認定委員会の活動報告

ウェルフェアダンス指導員認定委員会委員長

後藤 敏一

ウェルフェアダンス指導員認定委員会は、公益社団法人としてダンスを通じた社会貢献とその推進に努めております。地域における福祉活動の実践及び指導員の育成、認定を行い、全国各地域にその拡大を図っています。また年間を通し、施設慰問やウェルフェアダンス指導などの活動を展開し、各地域での社会貢献として、それぞれが普及を進めております。

車いすダンス、ブラインドダンス、手話ダンスの3つを指導の柱とし、ダンスの技術指導及び障がいのある方への接し方や、福祉活動に関する知識を習得するための講習を実施し、指導員を育成し福祉活動の輪を広げているのです。

近年、認定者が育成され、各地域に増加してきたことから、今年度も本部講習（東京）のみならず、各地域支部で講習会を開催し、認定申請をすることにより、更なる指導員の育成・拡大に取り組んでいます。

従来の教本に加え、福祉活動を実践されている一般の方にもわかりやすい参考テキストなども使用し、実際に福祉の場で活動するための「コミュニティ・スタッフ資格」等の認定にも力を注ぎ、取得者も増加しております。

このためウェルフェアダンス指導員事業としては、委員会を開催し、指導員の技術向上や新たな指導員を育成するとともに、資格の付与の認定を行っております。

また、公益活動としては、ウェルフェアダンスによる公益活動を支援し、公益社団法人としての責任を果たしているところです。

2020年度は、コロナ禍ではありましたが、委員会においては、ウェルフェアダンス指導員資格認定に係る業務としまして、指導員の育成に必要な資格認定のあり方等について、所要の検討を行いました。

また、ウェルフェアダンス指導員研修会（年2回）につきましては、コロナ禍への対応について活動要領について検討し、新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインについて確認・徹底を行うとともに、指導員研修会及び資格認定試験は、状況を踏まえ、未実施としました。

長野支部におきましては、公益事業・ウェルフェアダンス普及活動への参加協力として、毎年行っています施設訪問・文化祭への参加については、コロナ禍の状況を踏まえ、新型コロナウイルス

感染拡大を防止しつつ、限定的に実施してきました。あわせて、障がいのある方との車いすダンス等は継続的に開催し、指定研修会の一部の時間で練習の成果を発表し、ウェルフェアダンスの普及および公益事業の推進に努力しているところです。

神奈川支部においては、ウェルフェアダンス普及活動の推進として、毎年開催している「輪（WA）〜っと！ふれあいダンス交流会」（毎年100名程度の参加者）は、コロナ禍等を考慮し未実施となりましたが、コロナ禍への対応や、限定的な交流会の開催について様々な検討が成されました。

熊本支部におきましては、ウェルフェアダンス普及活動として、ブラインドダンス・車いすダンス等の推進のため、全盲者の会「赤いくつ」を支援し、会場の熊本市お達者クラブでは、定期的に、コロナウィルス感染症予防処置を行いながら、練習会とダンスパーティーを開催し、ブラインドダンスを楽しむなど、普及活動を実施しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定期的に行っていた施設訪問は休止としましたが、予防対策を徹底しながら、車いすダンス・社交ダンス・手話ダンスの練習を継続し、上天草市芸術文化祭でダンスや手話ダンスを披露し、会場の皆様と手話ダンスを楽しみました。

香川支部におきましては、福祉ダンスの普及活動として、地元ラジオ「気ままにラジオ」（西日本放送）の取材を受け、福祉ダンスの知名度を向上させたことなどが評価され、香川県障害者スポーツ協会の正会員の許可を得ることができ、さらなる普及活動の充実を計画しています。

地域活動としましては、会場の確保が困難なため、自粛中は地域責任者を中心にそれぞれ自己研鑽に務めており、足立区・世田谷区では、活動自粛をするも、9月頃より車いすダンス、手話ダンスなどの練習を再開しています。

また、品川区では、障がいのある方と、通信でコミュニケーションを図りながら、コロナ禍での活動について検討・企画しました。

以上、厳しい状況での活動ではありましたが、今後は情報発信や情報共有等を充実させ、指導員相互の連携を図りつつ、組織としての体力を強化し、ウェルフェアダンスの普及促進に邁進し、公益活動の一翼を担えるよう、引き続き有意義な活動を推進していきたいと存じます。

ウェルフェアダンス指導員認定委員会

委員長 後藤 敏一

委 員 水野 総一郎 井上 美由紀 奥泉 共恵 山崎 勝

■南関東甲信越地域会

【長野県スポーツダンス教師協会】

開催日：2020年1月～11月（4、5月除く）週1回 会 場：後藤ダンス教室 参加者：5名
内 容：今年はコロナ禍という社会状況、活動不可能の一年でした。本来ならば文化祭、施設訪問、発表会等、大勢の方々と交流を深められるウェルフェア活動です。しかし停滞している中、障がいを持つ生徒さんが車椅子ダンスを週一回熱心にレッスンし、ドライバーとして、ソロでも車椅子を操作。1/8、1/4、1/2、1回転の動作、スタンディングの私達とそれを補う動作を考え、調和のとれる車椅子ダンスを追求しつつ、地道な訓練を続けた一年でした。コロナ禍終息後の活動に備えている日々です。

【長野県スポーツダンス教師協会】

開催日：2020年11月29日（日） 会 場：坂城文化センター 参加者：15名
内 容：今年度はコロナ禍の状況下、施設訪問、文化祭等、ウェルフェア活動が中止となりましたが、毎週水曜日に車いすのレッスン活動は行って参りましたので、指定研修会の一部の時間で、練習の成果を会員の皆様に見ていただきました。今後の活動に繋げていきたいと思ひます。

■中部地域会

【スターラインダンス教師協会】

訪問日：2020年10月15日（木） 会 場：名古屋西幼稚園
訪問者：武澤 秀一、武澤 幸子 参加者：約200名
内 容：保護者と園児でカップルとなり、ピアノの生演奏に合わせて講師と共にペアダンスを披露。
文化芸術の体験を目的の事業。最後に『ワルツ』のデモを参加者に披露して、記念撮影して終了。

【スターラインダンス教師協会】

訪問日：2020年12月10日（木） 会 場：学校法人 尾関学園 美里幼稚園
訪問者：武澤 秀一、武澤 幸子 参加者：約200名
内 容：保護者と園児でカップルとなり、ピアノの生演奏に合わせて講師と共にペアダンスを披露。
文化芸術の体験を目的の事業。最後に『ワルツ』のデモを参加者に披露して、記念撮影して終了。

【スターラインダンス教師協会】

訪問日：2020年12月25日（金） 会 場：ドリームダンススタジオ（オンライン）
訪問者：武澤 秀一、武澤 幸子 参加者：約1000名
内 容：コロナ禍の状況で開催されたオンラインイベント。主催は「一般財団法人 幼児文化芸術協会」。会場セッティング等は最少人数で行い、ガイドラインに従った感染症対策を行い、撮影して終了。

2020 年度活動報告並びに今後の展開に係る提案

京都ロイヤルダンス教師協会会長

松岡 徹二

「新型コロナウイルス」感染拡大という全く予期せぬ事態に見舞われた 2020 年、当協会所属の各教室も、レッスンやパーティーの開催自粛はもとより、さまざまな場面で、これまでに経験したことの無い対応を迫られてきました。

目に見えない「ウイルス」の猛威は、得体の知れない「感染」という武器を持って教室を運営する教師陣を、そして、大切な生徒のみなさんを容赦なく襲い、心身に疲弊をもたらし、肉体的、精神的、経済的ダメージを与えていきました。

「うつらない・うつさない」ための対策を講じながら、かろうじて個人レッスン等々で息をつんでいる所属教師各位の、並々ならぬ努力を間近で見ながら、協会としても何らかの対策を講じなければ、早晚、協会の存続自体が危機に瀕することになりかねないことを感じ、我々は以下の緊急策を講じました。

1、京都ロイヤルダンス教師協会 オフィシャル YouTube チャンネルの創設

協会のオフィシャル YouTube チャンネルを立ち上げ、まずは正会員（プロ教師）に対して、行政（自治体、文化庁等）からの支援策に関する情報発信を行いました。

京都府・市では、文化事業に対する給付金支援が、比較的早期に実施され、当協会が設立以来、毎年春と秋に開催している競技会に、「京都府・京都市」並びに府・市の教育委員会からの後援をいただいていたという実績もあり、正会員である先生方は、それぞれが教室運営の事業主であることから、正規の手続きを経て、当面の活動資金の公的給付を受給できるよう働きかけました。

2、「自宅でできる基礎レッスン」の情報発信

協会オフィシャル YouTube チャンネルの有効活用の第一弾として、協会所属の教室に生徒のみなさんに対して、「自宅でできる基礎レッスン」の動画を配信。

これまで通りのレッスンが行えない状況のなかで、脚力の低下、正しい姿勢の維持が困難になってしまうことを少しでも防ぐため、ステップ以前の基礎練習を動画配信して、踊ることへのモチベーション維持に貢献できるよう努めました。

3、ANAD 指導員オンライン・リモート捺印講習の実施

当協会では、設立以来、協会運営維持のためにも、また、長年、社交ダンスに取り組みながらも、アマチュアであるが故に、自身の技術水準の客観的評価を得られなかった生徒の方々に向けて、「ANAD アマチュア指導員資格の取得」を推奨してきました。

「ANAD アマチュア指導員資格」を取得された方については、当協会の準会員として年間行事への参加、協会主催行事（競技会等）の運営スタッフ役員への就任、協会予算決算に対する認定等の義務と権限を付与し、協会運営に大いなるマンパワーを発揮していただきました。

各教室で、主力メンバーとして活躍してきてくださった ANAD 指導員の方々がコロナ渦のなか、技術低下を招いたり、ダンスへの情熱を失われることは、これまでの努力を水疱に帰すことになり、当協会にとっても、大きな損失であることを危惧し、例年通り、年 2 回の捺印講習を行えないか、あらゆる方途を模索しました。

しかしながら、やはり「集まって」「対面で」行う講習会の開催は、現時点での社会通念に照らしても避けるべきであり、参加者へのリスクヘッジも容易ではないとの結論に達し、協会オフィシャル YouTube チャンネルを活用した「オンライン・リモート捺印講習」とすることにしました。ただし、どこまでも、ANAD 指導員に向けた「捺印講習」である厳格性を確保するために、①期間限定公開 ②視聴報告の義務付けを行った上で実施しました。

このような緊急策を講じながら、現在も、感染リスクを最小限に止める努力を重ねながら、所属教室がそれぞれに、「with コロナ」のレッスンを未だ模索しながら続けている現状であります。

投稿ページ

俳句

『膝や腰 癒やすサンバや 寒椿』

滋賀県 男性（88 歳） ANAD アマチュア指導員



＜担当教師より ひとこと＞

M さんはご夫妻で楽しいレッスンを続けられています。

血圧や血液サラサラのお薬と付き合いながら、どの種目も踊られます。

最近は、「教えてもらってもすぐに忘れる」と嘆きながらも、レッスン後の生き生きした表情と軽やかな足どりを見ると、教師冥利に尽きます。

いつまでも年相応で良いので一緒に頑張りましょうね。

コロナ禍の中で

熊本県社交ダンス教師協会会長

水野 総一郎

現在、熊本県独自のコロナウイルス感染症非常事態宣言中であり、熊本県社交ダンス教師協会の活動もやむを得ず休止中としていますが、会員達は感染予防処置を厳重に行ない、知恵と工夫を凝らし、出来る範囲内のダンス活動をしているところです。

そこで私ごとの事例を紹介いたします。地元、上天草市で、市の生涯学習の一環として、「社交ダンス大矢野町教養講座」と「大矢野スパローズ」の2グループに、社交ダンスとウェルフェアダンスを毎週各2回指導しており、令和2年11月8日(日) 第62回 熊本県芸術祭参加”上天草市文化協会主催「舞台芸能発表会」のステージで、透明のマウスシールド着用など感染症予防のうえに、対面せずに後ろ側からリードする方法で社交ダンスを披露。また、会場の皆さまにウェルフェアダンス解説と手話ダンスで、ステージと観覧席が楽しさを共有しました。

現在、ステージを地元ケーブルテレビで天草2市1郡に録画放映をしております。

田舎天草ではコロナ感染者も少なく、新型コロナウイルスが、田舎者は田舎でやりなと言っているようにも聞こえます。

全国で早期、感染症の終息を願っております。

《ブラインドダンス「赤いくつ」》

会場を熊本市お達者クラブで、定期的に、コロナウイルス感染症予防処置を行いながら、練習会とダンスパーティーを開催、ブラインドダンスを楽しんでいる。

午後は、昼食を兼ねて運営などについての話し合いの場を設けている。

《大矢野町社交ダンス教養講座》・《大矢野スパローズ》

新型コロナウイルス予防の為に、定期的に行っていた老人施設の訪問活動は休止。

大矢野町自然休養村管理センター大ホールで、出来るだけの感染症予防対策をしながら、社交ダンス、車いすダンス、手話ダンスなどの練習とコミュニケーションの場として集まり、毎週火曜日 14:00～16:00、毎週日曜日 20:00～22:00、毎週水曜日 20:00～22:00 開催している。

また、11月8日松島総合センターアロマ大ホールで、第62回熊本県芸術祭参加事業：上天草市芸術文化祭「舞台芸能発表会」のステージで、社交ダンスのサンバフォーメーション、ルンバフォーメーションと手話ダンス3曲を、観客席の皆さまとともに楽しんだ。

2021 年度（令和 3 年度）ダンス教師試験日程

試験のご案内(2021)

前期ダンス教師認定講習
2021年6月10日（木）

- ※ 集合講習は、考査日のおおむね 45 日前に実施します。
- ※ 集合講習及び考査の詳細は各地域会または本部にお問合せください。
- ※ 受験申請書類は、全ダ連ホームページからダウンロードできます。
郵便でお取り寄せの場合は、1 部 1,000 円 + 税で販売いたします。

試験のご案内(2021)

後期ダンス教師認定講習
2021年11月11日（木）